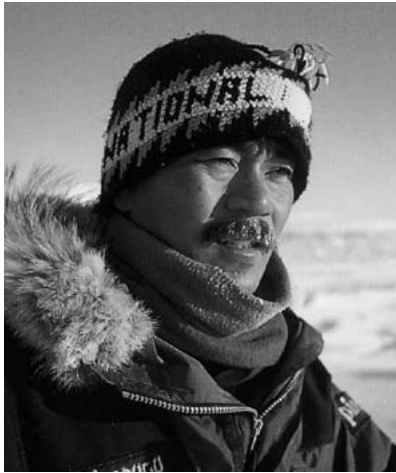


こうの ひょういち 河野 兵市 (1958~2001)



冒険家。西宇和郡瀬戸町(現、伊方町)出身。豊かな山と海が幼い頃からの遊び場となり、家業のミカン栽培の手伝いや、高校時代の片道17kmの道のりの自転車通学など、これらすべてが強靱な肉体と精神を育んだ。高校卒業後、大阪のガス会社に就職するが1年で退職して自転車日本一周に出る。その後、22歳で自転車世界一周を目指して日本を出発。以来、オーストラリア、北米、南米の各大陸を自転車で旅をしつつ、ユーコン川(アラスカ)の川下り、それぞれの大陸の最高峰登頂、アメリカ徒歩横断、南米大陸中央自転車縦断などを行った。しかし、昭和62(1987)年、カラコルム山脈の一峰・パキスタンのナンガパット(8,125m)に挑戦するがアイスブロックを顔面に受け負傷、7年ぶりの帰国を余儀なくされる。その後、平成2(1990)年11月から翌年3月にかけてサハラ砂漠リヤカー徒歩縦断に挑

戦、約5,000kmの単独徒歩縦断に成功した。

サハラ砂漠縦断成功の翌年、平成4(1992)年よりユーコン川やカナダの北極圏の村・レゾリュートで北極点遠征挑戦のための極地訓練を実施。レゾリュートで、各国の北極点遠征隊を長年サポートしてきたベーゼル・ジェスダーセン氏と出会い、北極点遠征について様々な指導を受ける。5年にわたる極地訓練の後の平成9(1997)年3月4日、カナダ最北端のワードハント島より約780km先の北極点に向けて出発、60日後の現地時間5月2日16時40分、日本人初の北極点単独徒歩踏破に成功した。

略歴

昭和33(1958)年4月12日	西宇和郡瀬戸町川之浜に生まれる。
昭和53(1978)年	アルバイトをしながら1年3か月かけて自転車で日本一周し16,000kmを走破。
昭和56(1981)年2月	世界一周を目指して自転車で大阪を出発、オーストラリアへ。
昭和57(1982)年7月8日	ユーコン川の川下りに出発(～8月24日)。
昭和58(1983)年7月11日	北米大陸最高峰マッキンリー山(現、デナリ山、6,194m)に登頂
8月8日	アメリカ徒歩横断出発(～翌年2月3日)
昭和60(1985)年5月8日	自転車に80kgの荷物を積んで南米を目指してシアトルを出発
昭和61(1986)年1月11日	アルゼンチンの南米大陸最高峰アコンカグア(6,960m)に登頂
昭和61(1986)年9月18日	南米大陸中央自転車縦断に出発(～翌年3月1日)
昭和62(1987)年8月	ヒマラヤ山脈の一峰、ナンガパット(8,125m)にアタックするが、6,700m付近で顔面に氷塊を受け27針を縫う重傷を負い帰国。
平成2(1990)年11月9日	サハラ砂漠リヤカー徒歩縦断に出発(～翌年3月17日)
平成4(1992)年	初の極地訓練をユーコン川で実施。
平成6(1994)年3月	レゾリュートで極地訓練を行う。“北極の師”ベーゼル・ジェスダーセン氏と出会い極地遠征の知恵を学ぶ。
平成7(1995)年4月19日	北磁極に単独徒歩到達する。
平成9(1997)年5月2日	日本人初(世界で3人目)の北極点単独徒歩到達を達成。
平成13(2001)年3月26日	北極点から故郷の愛媛まで15,000kmの旅(リーチング・ホーム)への第一歩を踏み出すが5月17日、北極点から696kmの地点で遭難。

(写真提供：株式会社ここに夢)

〈参考文献〉

- ・『河野兵市 アドベンチャーワールド 北極点を踏んだ男』愛媛新聞社 1997年
- ・河野兵市著『北極点はブルースカイ』愛媛新聞社 1997年
- ・河野順子著『絆－河野兵市の終わらない夢と旅』(株)河出書房新社 2002年
- ・河野順子著『自分が分かる手相術 一歩踏み出す勇気のために』彩流社 2012年

〈主な収蔵資料〉…(P212, 77~79)

〈ゆかりのある場所〉…(P291, 111)